

- 福島県矢吹町及び山形県白鷹町とそれぞれ協定を締結し、森林環境譲与税を活用して両町が所有する森林の整備及び保全等を実施。
- この取組では、森林が有する二酸化炭素の吸収価値を創出し、三鷹市が排出する二酸化炭素の埋め合わせを行うカーボンオフセット事業を実施。

□ 事業内容

姉妹町等と連携した森林の整備及び保全

- ・ 植栽木の成長を阻害する雑草木の下刈り（福島県矢吹町）
- ・ 木を伐採して違う樹種などを植え替える更新伐、伐採木の搬出（福島県矢吹町）
- ・ 伐採跡地の再造林（山形県白鷹町）

【事業費】 9,000千円（うち譲与税9,000千円）

【実績】 整備面積 約4ヘクタール
二酸化炭素吸収量 9.57トン

□ 取組の背景

・ 三鷹市では、令和4年12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指している。この取り組みの一つとして、森林環境譲与税を活用して、福島県矢吹町及び山形県白鷹町とそれぞれ協定を締結し、両町が所有する森林の整備及び保全等を行っている。



（森林整備後の様子）



（森林整備看板）

□ 工夫・留意した点

- ・ 多種の山野草が自生している自然公園や郷土を代表するシンボリック存在の山を整備場所としている。

□ 取組の効果

- ・ 森林整備区域を活用した林業体験や教育活動など、三鷹市と姉妹町等における環境に関する交流事業の実施を検討している。
- ・ 得られた二酸化炭素吸収量について、イベントなどへの活用を検討している。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：22,468千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0.1%	④人口（※2）：195,391人	⑤林業就業者数（※2）：3人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より